

# 天沼小の芝生のお話 ～あまぬま芝生隊よい～



芝刈正雄君

校庭の芝生のあれこれについて、ご紹介いたします!



## ★芝生の品種について

～夏芝と冬芝～★ みずたまきこさんとポット苗ちゃんズ

芝生は、季節に合わせて夏芝と冬芝を交互に植えています。

夏芝は『ティフトン』という品種で、先日のポット苗大作戦・補植大作戦の苗がこれです。冬芝は『ペレニアルライグラス』という品種で、昨年度末に4～6年生が牛乳パックで苗を育てるのに挑戦しました。

夏芝は暑くなると元気に育ち、気温が低くなると地下茎になって休眠します。逆に冬芝は気温が10～25℃では生育がよく、それより暑くなると弱って枯れてしまいます。

この特徴を生かして、一年中芝生が茂るよう、苗を植える時期や種をまく時期、養生期間を調整しています。(図1)

なお、夏芝と冬芝を入れ替えるやり方は、サッカー等の競技場でのメンテナンスと同じ方法です。(ウィンターオーバーシーディング方式)



岡田養生君

## ★芝のメンテナンスについて★

芝生のメンテナンスは、ポット苗大作戦等の大きなイベント以外に、5月から11月にかけて、ほぼ毎週土曜日に芝メンテナンスを行っています(養生期間等は除く)。

メンテナンスの作業内容は、芝刈り・補植・エアレーション(固まった地面に空気が行き渡るよう、穴を開けます)・雑草取り・目砂まき(肥料や種を混ぜる事もあります)・水やり・各種道具の手入れ等です。

また、養生期間や冬場には、シートをかける事もあります。シートをかける主な理由としては、春と秋の養生期間では冬芝の種をまいた後、ある程度成長するまで芝がすり切れるのを防ぎ、冬場ではぐっと気温の下がる1月末から2月、霜が降りて芝が傷まないように地中の温度を保温するということがあります。

## ★芝生のいい所★

芝生にはいい所が沢山。その一部をあげてみます。

- ・目に優しい…照り返しが少なく、砂やホコリの飛散が減少します。
- ・夏はひんやり…芝の上は地表面温度が低く保たれるので、体育時の熱中症対策にもなります。
- ・水はけがよい…水はけがよいので、雨が上がった後もすぐに使用出来ます。
- ・けがが減る…芝生のクッション性のおかげで、転んだ時など衝撃が減り、けがも減ります。けがの心配が減るので、子どもたちも思いっきり身体を動かせるようになります。
- ・芝生のお手入れの効果…子どもたちが芝生の手入れをする事で、芝生をととても大事にするようになりました。

## ★皆さんの力で★

現在の天沼小学校の新校舎が完成するとエコスクールとして、校庭には芝生がありました。最初はなかなか上手く育たず、手入れをする人員も不足していました。

そこで『とびだせ緑の芝生へ委員会』が発足、さらに本年度より『あまぬま芝生隊』へ展開しました。芝生隊では、イベントやメンテナンスの準備・手配の他に、芝生隊メンバーの勉強会、保護者の方々のお手伝い募集、芝生へ興味を持って頂くため『天晴らんど通信』の発行・芝生のキャラクター作成・ホワイトボードでの折々のニュース等の掲示(校内)等も行っています。

お陰さまでより多くの保護者の皆さんに関わりをもって頂くようになり、芝生の状態も良くなって来ています。

今後は経験を積み重ね、効率的に芝生をよりよい状態に保てるようにしていけたらと思っています。

なお、芝生のメンテナンス作業に参加いただいた保護者の方からは、どの作業も案外楽しかった!という声があがっています。土曜のメンテナンスは飛び入り参加もOKですので、是非おいで下さい。

～今後のメンテナンスの予定～ 7/5(土)、12(土)、26(土)の12:30～13:30 校庭芝生に集合

図1 天沼小の芝生の一年(平成26年度・予定も含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芝生				夏芝(ティフトン)								(地中で茎が越冬)
							冬芝(ペレニアルライグラス)					
養生												(保温シートかけ)
メンテナンス				芝メンテナンス(ほぼ毎週)								
イベント		ポット苗大作戦 補植大作戦									冬芝ポット苗・補植	